作成者:飯高敏和

作成日:2006/08/24

0 はじめに

この文書は、本プログラムの主要な機能であるテスト問題のアイテムバンクへの登録と、 アイテムバンクを用いたテストの作成の手順を解説するものである。

このプログラムの特徴は、アイテムバンクで作成済みの問題から、任意に設問を選択して、クラスで出題できるところにある。このため、テスト作成・出題の手順は、図 1 のようになる。

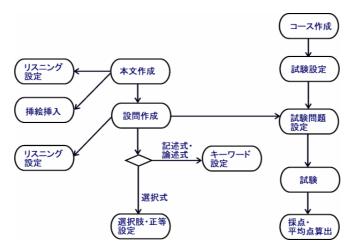


図1 テスト作成・出題の手順

図1をたての流れで見ると、手順には大きく二つの流れがある。一つは、「本文作成」からはじまるもので、アイテムデーターバンクへの登録動作である。そして、もう一つは、「コース作成」からはじまるもので、クラスにおけるテストを作成する動作である。

以下でも、この二つの手順を分けて解説する。

1 アイテムデーターバンクへの登録

ここでは、大きな流れの一つであるアイテムデーターバンクへの登録について、取り扱う。アイテムデーターバンクのデーター構造は、図2のようになっている。

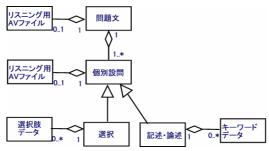


図2 データーバンクのデーター構造

データーバンクでは、一つの「問題文」に対して、複数の「個別設問」が設定できるようになっている。そして、その「個別設問」には、「選択式」と「記述式・論述式」がある。こうした種別ごとに、さらにその下に設定できるデーターが異なっている。「選択式」の場合には、それぞれの「個別設問」に対して「選択肢データー」が設定できるようになっている。他方で、「記述式・論述式」の場合には、「キーワードデーター」が設定できる。

作成手順もこれにあわせて、「問題文」、「個別設問」を順に作成し、それに続いて、「選択肢」もしくは「キーワード」を設定するようになっている。以下では、この手順にあわせて、やり方を解説する。

1.1 問題文の作成

ここでは、問題文の作成までを解説する。

Step1:インデックス画面の表示

ログインすると、図 3 次のようなインデックス画面が表示されるので、「テキスト一覧画面 へ」をクリックします。

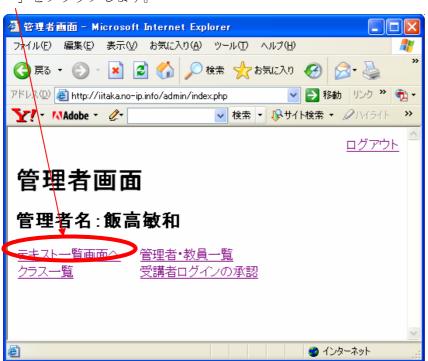


図3 インデックス画面表示

Step2:テキストリスト表示

Step1 を終えると、図4のようなテキストリストが表示されます。テストテキストを登録するには、新規の場合には、右上の「テキスト・データの新規登録」を、既存のものを編集する場合には、タイトルをクリックしてください。

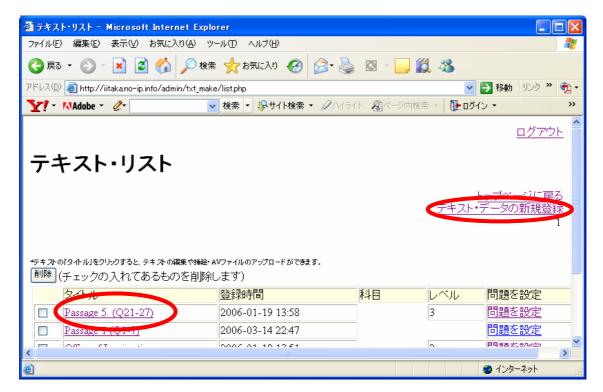


図4 テキストリスト

Step3: テスト・テキスト挿入画面

新規登録の場合には、図 5 の画面から、テキストとタイトルを入力して、「登録」をクリックしてください。更新の場合も同様です。

	テキストの挿入 - Microsoft Internet Explorer			
ァイル(E)	編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルブ(H)			
) 戻る・	- 🕞 - 💌 🙎 🔥 🔎 検索 📌 BMIZ入り 🥝 😭 - 🌉 🚳 - 📙 🌉 🚜			
レス(0) 🧸	http://iitaka.no-ip.info/admin/txt_make/insert_form.php	~	● 1840	リンク **
<u> 77 - 14</u>	NAdobe - 🔗 🔻 🔻 検索 - 👂サイト検索 - 🖉ハイライト 🔊 ページ内検索 - 🕦 ログイン - 🙌 オーケション	参加無料 第29♥・		
			<u>7</u> +.	ログアウト スト一覧へ
テス	ト・テキストの挿入			
ctrimut/8	問題を作りたい場合には、「JREP・「置 後キー」・「置換しない場合の表示テキスト」 」」の形式で、「置後タク	引を知事的 アン	だが、	
ここで用い	「可感さすられたい場合には、「IREF1 直接ギー」・「直接しない場合の表示デキスト」」」の形式に置き換した「置換キー」を、設問で指定すると、実際のテストでは、置換タグが「(設問番号)」の形式に置き換	えられます。	reet .	
タイトル				
斗目	未設定 🔻			
難易度	○1. やさしい ○2. 普通 ○3. 難しい ◎4. 設定しない			
熟達度	○1. 初級 ○2. 中級 ○3. 上級 ○4. 最上級 ⊙5. 設定しない			
	_			
テキスト				
7721				
	w w			
備老				
備考				
	UC		企業企業	

図5 テスト・テキストの挿入

1.2 設問の作成

問題文を登録すると、その問題文に対して、設問を設定できるようになります。Step1 は、1.1 問題文作成と同様です。

Step1:インデックス画面の表示

Step2:テキストリスト表示

図 6 のようにテキストリストが表示されたら、問題を設定したいテキストの行の「問題設定」をクリックします。

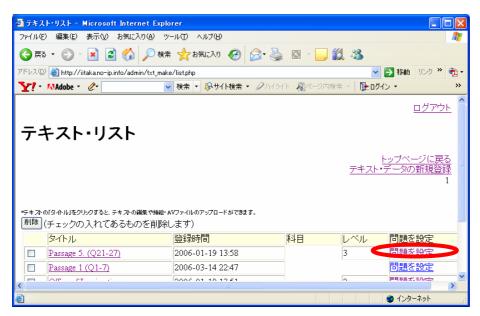


図6 テキストリスト

Step3:テキストごとの設問リスト

図 7 のテキストごとの設問リストが表示されるので、「問題文」を記入し、「回答形式」を 選択し、右端の「挿入」をクリックしてください。既存のものを編集する場合には、「更新・ 削除」をクリックします。

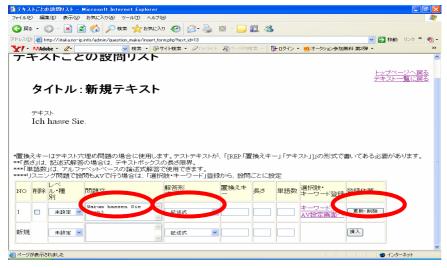


図7 テキストごとの設問リスト

1.3 キーワードの設定

設問設定(上記 1.2) で、記述式もしくは論述式を選択した場合には、採点のために「キーワード」を設定することができます。キーワードには、配点の割合も設定することができ、受講者の回答がそのキーワードにマッチした分だけ得点されます。

設定までの手順は、Step2までは、1.2と同様です。

Step1:インデックス画面の表示

Step2:テキストリスト表示

Step3:テキストごとの設問リスト

図8のテキストごとの設問リストでは、設定した設問の「キーワード・AV 設定画面へ」を クリックします。

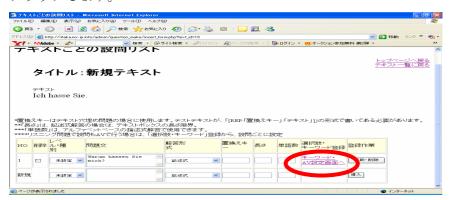


図8 テキストごとの設問リスト

Step4:キー・ワード一覧画面の表示

図9のようなキーワード一覧画面が表示されます。新規にキーワードを登録する場合には、「キーワードを新規に設定」をクリックします。

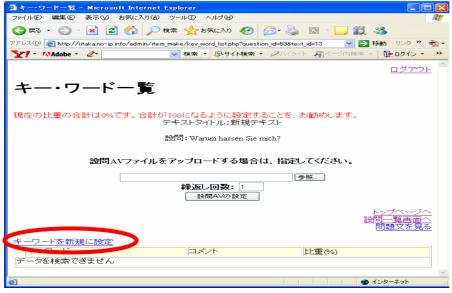


図 9 キー・ワード一覧画面

Step5:キー・ワード作成画面

図 10 のようなキー・ワード作成画面が表示されます。キーワードと比重を入力した上で、「新規作成」をクリックします。(回答がキーワードを含んでいると、「比重」にあわせた分だけ得点になります。)

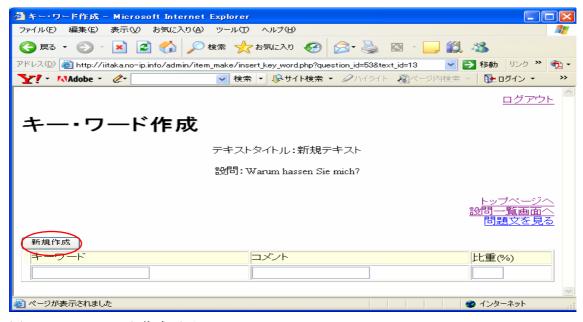


図 10 キー・ワード作成画面

Step6: 再びキー・ワード一覧

キーワードが既に作成されていると、キーワード一覧は、図 11 のように変化します。この 段階では、「比重やコメントの修正」や「削除」ができるようになります。

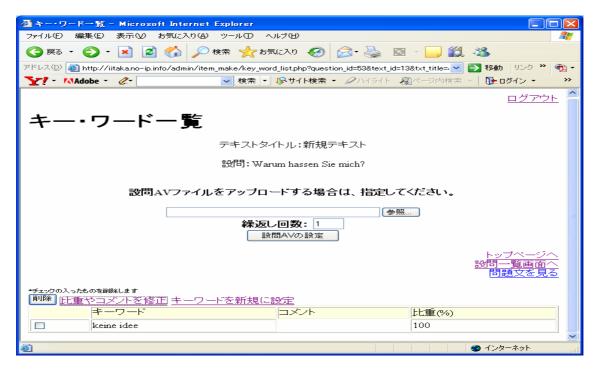


図 11 キー・ワード一覧 (データあり)

1.4 選択肢の設定

1.2 の設問設定で「選択式」もしくは「選択式 (複数可)」を選んだ場合には、選択肢を設定することができます。

設定までの手順は、Step2までは、1.2と同様です。

Step1:インデックス画面の表示

Step2:テキストリスト表示

Step3:テキストごとの設問リスト

図 12 の「テキストごとの設問リスト」画面では、選択肢を設定したい問題と同じ行の「選択肢・AV 設定画面へ」をクリックします。

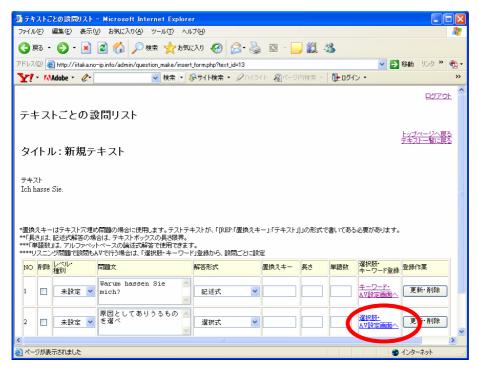


図 12 テキストごとの設問リスト

Step4:解答の選択肢リスト

図 13 のような解答の選択肢リストが表示されます。新規に選択肢を挿入する場合には、「新規の選択肢」に入力の上、「挿入」をクリックします。



↓スクロール

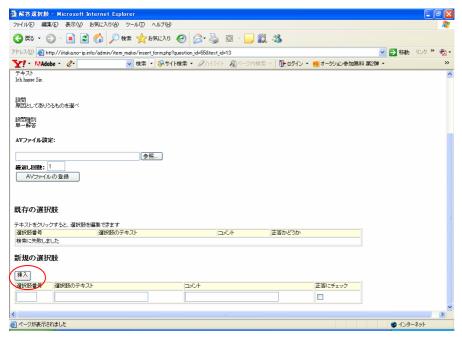


図 13 解答の選択肢リスト

Step5:解答の選択肢リスト(2)

選択肢が設定されている状態だと、図 14 のように、選択肢リストの「既存の選択肢」の欄に選択肢が表示されます。「選択肢のテキスト」をクリックすると、選択肢の文言を修正したり、削除したりできます。

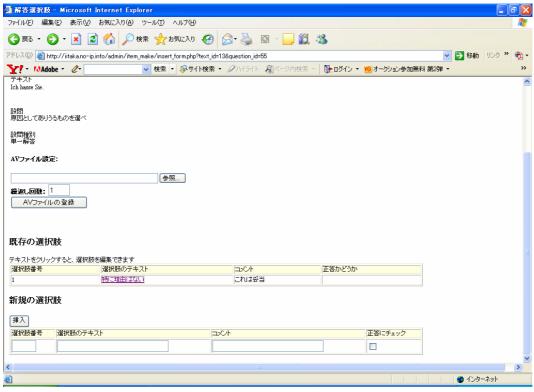


図 14 解答の選択肢リスト(2)

2 実際に行われるテストの設定

ここで、冒頭の図1で示した「コース作成」から始まる流れに、話を移します。本書は、「テストの作成・出題」のガイドなので、「コース作成」や「採点」は割愛します。実際に行われるテストは、コースごとに作成されます。そして、第一章のデーターバンクから設問を選択して作成されます。

データーの構造を図であらわすと、図15のようになります。

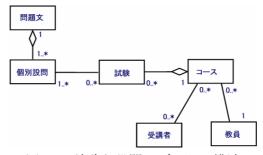


図 15 試験と設問のデーター構造

図のように、実際に行われる試験情報と直接関連しているのは、「個別設問」のデーターです。このため、設定においても、試験の基本情報を作成してから、個別の設問データーを試験情報と関連付けるという作業を行います。試験の問題文や選択肢は、個別設問データーから芋ずる式に呼び出されます。

以下では、コースごとの試験基本情報の作成から、試験の開始までの手順を解説します。

2.1 試験情報の作成

コースごとに設定されている試験情報は、そのテストの名称や開始時刻などを含む情報です。 開講しているコースにおいてのみ、試験情報を設定することができます。

Step1:インデックス画面の表示

インデックス画面では、「クラス一覧」をクリックしてください。

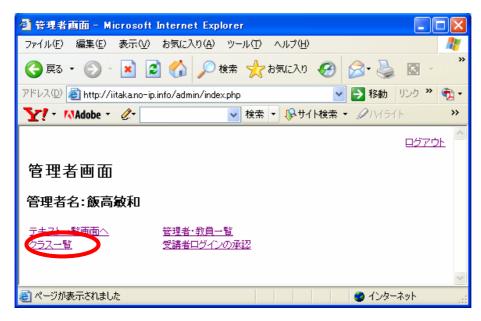


図 16 インデックス画面(2)

Step2:クラス一覧画面の表示

クラス一覧表で試験を設定したいクラスの行の「状態」の「開講中」をクリックします。



図 17 クラス一覧画面

Step3:実施テスト一覧画面の表示

図 18 のような実施テスト一覧画面が表示されるので、右上の「テストデータを新規に挿入」をクリックします。

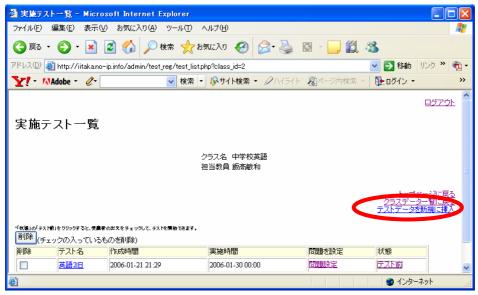


図 18 実施テスト一覧画面

Step4:テスト情報挿入画面の表示

図 19 のようなテスト情報挿入画面が表示されるので、各項目に入力して、「登録」を押してください。なお、「試験タイプ」では、提出期限が過ぎた場合の動作が設定できます。

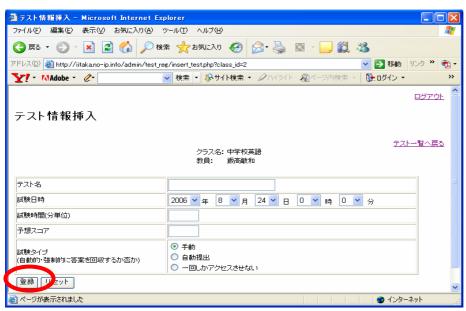


図 19 テスト情報挿入画面

Step5:設定された試験情報を修正する

設定された試験情報を修正するには、実施テスト一覧画面の「テスト名」をクリックします。

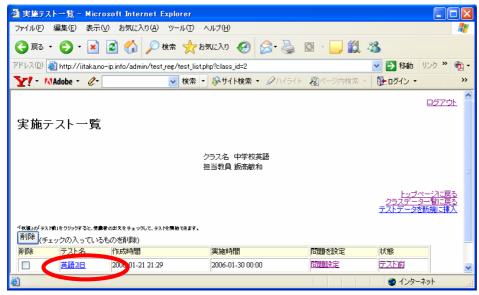


図 20 実施テスト一覧画面(2)

2.2 問題の設定

実際に出題される問題は、第一章で扱ったアイテムデーターバンクから出されます。このため、出題される問題を設定する動作は、2.1 で作成した試験データとデーターバンクの設問データーを関連付けるという形で行われます。

手順の Step1 及び Step2 は、2.1 と同様の作業です。

Step1:インデックス画面の表示

Step2:クラス一覧画面の表示

Step3:実施テスト一覧画面の表示

図 21 の実施テスト一覧画面では、行いたいテストの行の「問題を設定」の欄にある「問題設定」をクリックします。

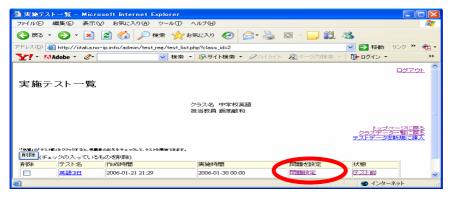


図 21 実施テスト一覧画面(2)

Step4:問題設定画面

図 22 のような問題設定の画面が表示されます。画面の上方に、そのテストに設定済みの問題の一覧が表示されます。そして、画面の下方に、アイテムデーターバンクにある設問の一覧が表示されます。挿入したい設問にチェックを入れた上で、「試験に設問を追加」をクリックすると、問題が設定できます。

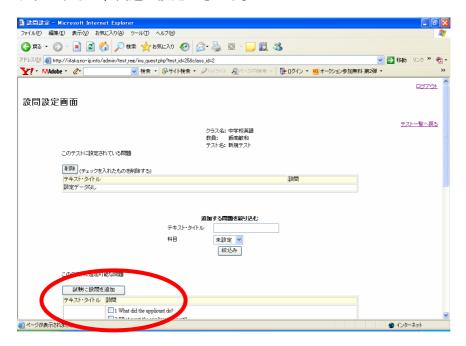


図 22 問題設定画面

Step5:出題順序と配点(1)

Step4 が終わった段階で、出題される問題は決まりましたが、配点や出題順序は決まっていません。ですが、Step4 が終わるとすぐに、問題設定画面は、図 23 のように変化します。ここで、「設問順番および配点を設定」をクリックします。

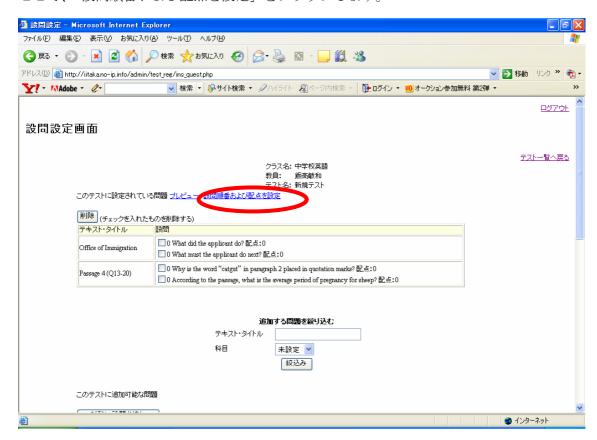


図 23 問題設定画面(2)

Step6:出題順序と配点(2)

ここで、図 24 のような「並び順および配点設定」画面が表示されます。項目に入力した上で、「登録」をクリックします。

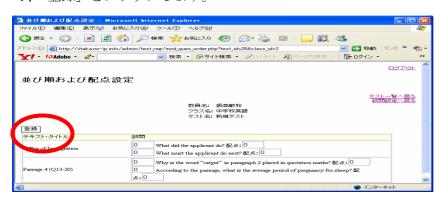


図 24 並び順および配点設定画面

2.4 試験開始

試験に問題が設定されていると、同じコースで他のテストが実施中でない限り、試験を 行うことができます。

手順の Step1 及び Step2 は、2.1 と同様の作業です。

Step1:インデックス画面の表示

Step2:クラス一覧画面の表示

Step3:実施テスト一覧画面の表示

実施テスト一覧画面では、行いたいテスト情報の行の「状態」の「テスト前」をクリック します。

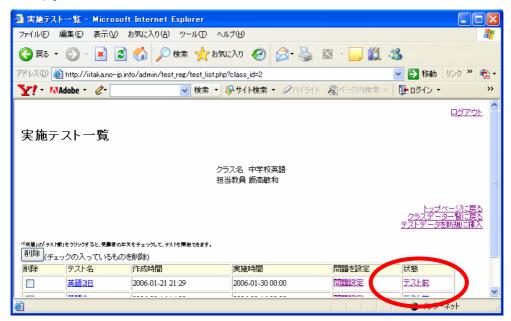


図 25 実施テスト一覧画面(3)

Step4:テスト開始・出欠フォーム

図 26 のような「テスト開始・出欠フォーム」が表示されるので、出席者にチェックが入っている状態で、「試験開始」をクリックします。



図 26 テスト開始・出欠フォーム

Step5:試験中に状態が変化

すると、実施テスト一覧におけるテスト情報が変化します。状態が「実施中」に変わっています。この「実施中」をクリックすると、試験終了・遅刻者アクセス許可の動作を行うことができます。

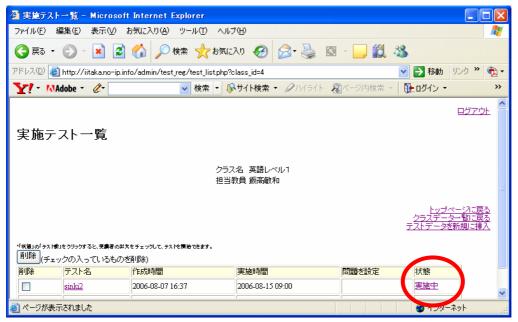


図 25 実施テスト一覧画面(4)